

認知心理学

2 units 3rd-year(1st semester)

Jiro Hamada · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Target) 外的環境に対する人間の優れた適応力を、私たちは日常生活のなかで疑問に思うことがないが、考え直してみると極めて不思議なことである。人間は外的環境の認知を物理的な刺激からだけではなく、記憶や知識体系との統合によって実現している。本講義では、心理学的な実験を通して明らかにされた研究成果を紹介しながら、できるだけ平易に人間の認知の機能について考察する。特に、外的環境に対する空間の認知、パターン認知、人間の記憶などを人間の情報処理の観点から概説し、人間を理解する試みを紹介する。

Outline) パターン認知と人間の記憶

Fundamental Lecture) “知覚心理学”(1.0)

Notice) 講義は随時資料を配付しながら進める。

Goal) 人間が外的環境の認知を物理的な刺激からだけでなく、記憶や過去経験との統合によって実現していることを理解する。

Schedule)

1. 空間の認知
2. 大きさの恒常性
3. 大きさ・距離不変仮説
4. パターン認知
5. 形の恒常性
6. 対称性の認知
7. 心的回転
8. 視覚的注意
9. 画像貯蔵庫
10. 音響貯蔵庫
11. 短期貯蔵庫からの忘却
12. 短期貯蔵庫の容量
13. 短期貯蔵庫からの情報検索
14. 長期貯蔵庫への情報の記入
15. 維持リハーサルと精緻化リハーサル

Evaluation Criteria) 中間試験, 期末試験, レポート及び出席状況によって評価する。

Re-evaluation) 行わない。

Textbook) 資料を配布する。

Reference) 中溝・箱田・近藤訳「情報処理心理学入門 I-II-III」サイエンス社, 大

村彰道訳「人間の記憶-認知心理学入門」東大出版会, 御領・菊地・江草共著「認知心理学への招待」サイエンス社

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219462>

Contact)

⇒ Hamada (3S02, +81-88-656-7195, hamada@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL
(Office Hour: 水曜日, 12時~ 13時)